

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

アクティブ運用だからこそできる大化け株への投資 ～担当ファンドマネージャーからのメッセージ①

2017年6月8日

平素は、「女性活躍応援ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドの基準価額は設定日以降、堅調に推移しており、設定来(分配金再投資基準価額ベース)において42.1%上昇しています。同期間のTOPIX(東証株価指数)の騰落率は1.6%の上昇となっていることから、これまでのところは当ファンドの受益者の皆さまに対して高い付加価値を提供することができたと考えております。このたびは担当ファンドマネージャーからのメッセージをお伝えしたいと思います。

＜基準価額・純資産の推移＞

2017年5月31日現在

基準価額	12,899 円
純資産総額	21億円
TOPIX	1,568.37

期間別騰落率

期間	ファンド	TOPIX
1か月間	+10.8 %	+2.4 %
3か月間	+16.5 %	+2.2 %
6か月間	+28.9 %	+6.7 %
1年間	+30.3 %	+13.7 %
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	+24.0 %	+3.3 %
設定来	+42.1 %	+1.6 %

当初設定日(2015年3月31日)～2017年5月31日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/09)	0円
第2期 (16/03)	0円
第3期 (16/09)	50円
第4期 (17/03)	1,100円
分配金合計額	設定来: 1,150円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額を分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額を分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

■ハイブリッドチームと得意な分野

弊社エクイティ運用部には複数の運用チームがあり、私は「ハイブリッドチーム」というチームに所属しています。「ハイブリッドチーム」のメンバーは5名で、それぞれ性格や得意分野、ファンドの運用スタイルも異なるメンバーがあえて集まっています。同じような志向のメンバーのチームですと相場が追い風のときは良いですが、逆風が吹いたときに全員が同じ負け方をして打つ手がない状況に陥ってしまうリスクが大きいと、有名なロールプレイングゲームのように、異なる特技や性格を持ったメンバーが力を合わせて大きな相手に立ち向かっていくというイメージでチーム運営を行っています。

このチームの中で私は最年少で、得意な分野はインターネット関連、サービス関連、小売関連分野です。過去には、ゲームアプリ関連銘柄などへの投資でも素早く対応し、大きな成果を残すことができました。土日の時間がある時には、ゲームをしたり、ショッピングセンターに行ったり、気になる小売店に行くことなどで情報収集を行っています。

■大化け株への投資

短期間で株価が大きく上昇する銘柄をハイブリッドチームでは「大化け株」と呼んでいます。株式市場では毎年株価が2倍3倍になるような銘柄が多く生まれております。このような銘柄に投資を行うことが株式投資の醍醐味(だいごみ)であり、基準価額上昇に大きく寄与することで受益者の皆さまに貢献できるため、ファンドマネージャーにとって最もうれしい瞬間なのです。そして、より良い銘柄を選んで投資するアクティブ運用だからこそ、そのような銘柄に早期に投資できるチャンスがあります。

当ファンドの投資成功事例として、美顔器などで有名なヤーマンがあげられます。日本で人気の美顔器が中国で販売を拡大し2016年8月に業績の上方修正を発表したことで株価は急上昇しました。昨年から1年間で営業利益が約3倍になったことで株価も約3倍に上昇しました。2年ほど前にニュースでよく「インバウンド、訪日外国人客の爆買い」などが取り上げられていたと思いますが、訪日外国人客は日本の化粧品などの美容関連商品に対する注目度が高いことがわかりました。日本の女性に人気の商品は、経済成長により所得水準が向上し、高い品質を求めるようになる新興国で人気が高まるということを示した良い例なのだと考えています。また、今後日本においても女性の社会進出が進むことで、自宅でエステをするニーズも高まっていく可能性があると考えられます。



大化け株の特徴として、業績が変貌する企業には、世の中の潮流・トレンドを作り出す企業が多いと思います。例えば、デフレという要因で消費者のニーズをつかんだのが今は大企業となったユニクロを展開するファーストリテイリングであり、100円ショップのセリア、ドラッグストア業界などだと思います。セリアやドラッグストアなどは女性客も多いですし、世の中のニーズを捉えるには、消費者としての女性に着目することが非常に重要だと考えています。また、日常生活でもヒントは隠されていると考えています。近年ですとスマートフォンの普及から空き時間にゲームをやる人が増えました。近年、通勤の電車ではゲームで有名な「パズドラ」や「モンスト」をやる人が多く見られましたし、昨年7月に配信された「ポケモンGO」は町中を歩くと多くの人が見ているのを見て流行ということを感じました。結果、「パズドラ」を開発したガンホー・オンライン・エンターテイメント、「モンスト」のミクシィ、「ポケモンGO」の任天堂の株価などは大きく上昇しました。このように日常生活に気を配ることはとても重要であると感じております。

■今後の運用について

当ファンドでは、今後の成長余地や成長スピードを考慮すると、会社規模の大きい大型株よりも中小型株の方が大化け株が生まれる可能性が高いと考えているため、中小型株の比率が高くなっております。運用に関しては、外部環境に左右されにくく、人手不足のような構造的要因により成長が期待される企業、独自のビジネスモデルなどで成長が期待される企業、バリュエーションが割安で業績が好調な企業などを中心に投資を行いながら、大化け株を積極的に探すというスタイルにより、たとえ日経平均やTOPIXなどの相場全体が上昇しないような相場環境になったとしても、中長期的には良好なパフォーマンスを目指していきます。

当ファンドは「女性活躍応援ファンド」という名前から、「応援する」とか社会貢献的な意味で捉えられがちですが、「女性の活躍」は日本株の成長テーマであると考えております。したがって、そのテーマから恩恵を受けて利益成長する企業に投資を行うことをご支援いただく受益者の皆さまにリターンを享受してもらい、長年にわたって皆さまに愛されるファンドにしていきたいと思っております。

引き続き「女性活躍応援ファンド」をご愛顧賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

わが国の株式の中から、女性の活躍により成長することが期待される企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 「女性の活躍」に着目して投資候補銘柄を選定します。



2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行ない、投資魅力の高い銘柄を選定します。
 - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
 - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは「女性活躍応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

女性活躍応援ファンド(愛称:椿)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動(価格変動リスク、信用リスク)」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.566% (税抜 1.45%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

女性活躍応援ファンド（愛称：椿） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
アイオー信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第230号				
飯田信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第252号				
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第2号	○	○		
大阪信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第45号				
株式会社きらやか銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第15号	○			
桐生信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第234号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
しののめ信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第232号				
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○		
瀬戸信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第46号	○			
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○			
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山第一銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第7号	○			
長野信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第256号	○			
のと共栄信用金庫	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第30号				
飯能信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第203号				
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第81号	○			
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第10号	○			
三島信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第68号				
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第41号	○			
いよぎん証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。